

## 航空機産業への中小参入支援 富山市、4月に助成金創設

富山市は1日、航空機産業に参入する市内の中小企業を支援するための助成金を4月に創設すると発表した。航空機産業に絞った助成金は県内の市町村では初めて。資金面で後押しし、成長産業と期待される同産業への進出を促す。

新設する「富山市航空機産業支援助成金」は3種類ある。「人材育成支援」(限度額500万円)は技術指導料や研修受講費などを対象に支援する。「試作品製造支援」(同)では航空機メーカーが求める試作品製造のための材料費や工具費を、「認証取得支援」(限度額150万円)は品質管理や特殊工程の認証の新規取得申請料や翻訳委託料などを対象に補助する。

航空機産業は機体の小型・軽量化などで、今後20年で市場規模が2倍になると予想されている。部品数や製造工程が多いことから裾野も広い。ただ、他の産業に比べて長期の資金調達が必要な上、特別な認証の取得も不可欠と、新規参入のハードルは高いとされる。

富山市内には工作機械など機械関連産業で技術を磨いてきた企業も多い。市は航空機産業の特徴に応じた支援で中小企業の参入を後押しし、経済活性化を図る考え。1日記者会見した森雅志市長は「市の新たな産業として育成し、地域に定着させることが重要」と話した。